1603873HC2704

MITSUBISHI ELECTRIC

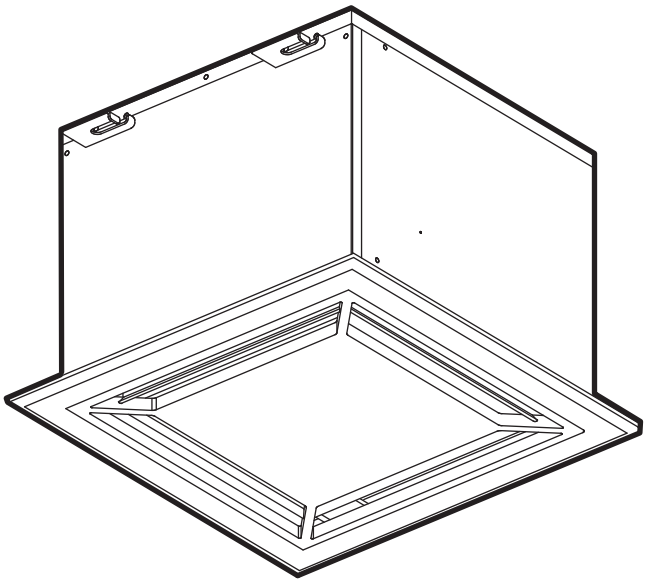
業務用単独脱臭ユニット

形　名

TDA-30JC2

取扱説明書

お客様用



もくじ　ページ

お使いになる前に

安全のために必ず守ること……2

特　長……3

各部のなまえ……3

使いかた

使いかた……4

お手入れ・困ったとき

お手入れ……5～7

「故障かな？」と思ったら……7

アフターサービス……8

仕　様……8

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

ご使用の前に「安全のために必ず守ること」をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、「三菱電機　修理窓口・ご相談窓口のご案内（冷熱品）」とともに大切に保管してください。

お客様自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません）

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	⚠注意
誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

禁止	水ぬれ禁止
分解禁止	指示に従い必ず行う

⚠警告

	●**可燃性ガスが漏れた場合はコントロールスイッチを入・切しない** (電気接点の火花により爆発する原因になります) **窓を開けて換気する**
	●**改造や必要以上の分解をしない** (火災・感電・けがの原因になります)
	●**製品を水につけたり、水をかけたりしない** (火災や感電のおそれがあります)
	●**交流100Vを使用する** (直流や交流200Vを使用すると火災や感電の原因になります) ●**お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る** (感電やけがをすることがあります) ●**異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して分電盤のブレーカーを切り、お買上げの販売店または「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」に相談する** (異常のまま運転を続けると故障や感電・火災等の原因になります)

⚠注意

	●**脱臭ユニットの風が直接あたるところに燃焼機器を置かない** (不完全燃焼による事故の原因になることがあります) ●**高温（40℃以上）や直接炎があたったり、油煙の多い場所には使用しない** (火災のおそれがあります) ●**機械および化学工場など酸・アルカリ・有機溶剤・塗料など有害ガス・腐食性成分を含んだガスが発生する場所には使用しない** (絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります)
	●**お手入れ後の部品の取付けは確実に行う** (落下によりけがをすることがあります) ●**お手入れの際は手袋を着用する** (着用しないとけがの原因になります) ●**長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る** (絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります)

特　長

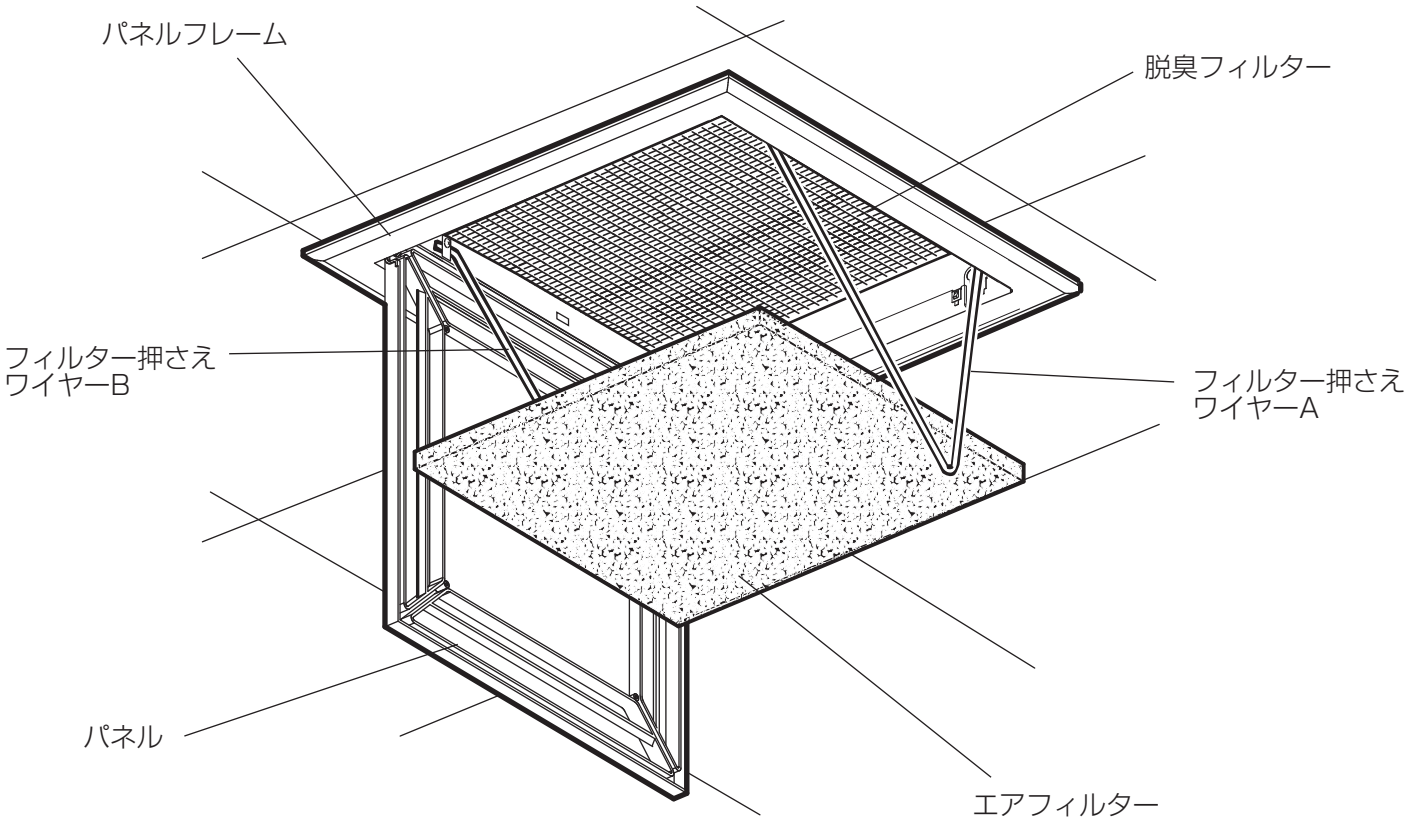
最近の建物は気密性が高く、冷暖房効果・しゃ音効果が高いという特長があります。
その反面、換気不足による室内空気の汚染（臭気）・結露の発生などで健康を害したり、壁・天井の汚れのもとになるカビ・ダニの発生につながります。

脱臭ユニットは室内で発生する臭気を除去します

脱臭フィルターによる
脱臭効果

一過性脱臭効率80%の高効率脱臭フィルター搭載により、効果的なスピード脱臭を実現しました。
床面積が24m²、容積60m³にて25分で初期濃度の1/3まで脱臭可能です。
　対象臭気成分：メチルメルカプタン、アンモニア、硫化水素

各部のなまえ

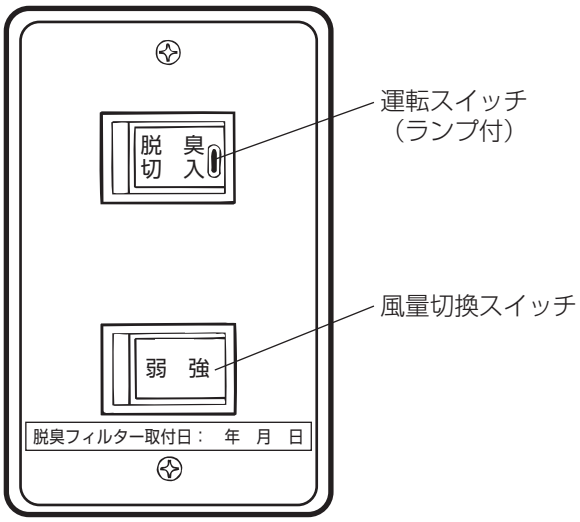


使いかた

運転は、システム部材（別売）のコントロールスイッチ（PT-01STD2）にて行います。
コントロールスイッチの据付工事・取扱説明書も併せてご覧ください。

ロスナイ運転と脱臭運転を併用運転したり、それぞれ単独運転することができます。
用途に合わせてコントロールスイッチで操作します。

コントロールスイッチ（別売）
PT-01STD2



運転のしかた

■運転スイッチの右側を押して「入」にする。
●ランプが点灯し、運転を開始します。

■風量を切り換える。
風量切換スイッチの右側を押すと「強」、左側を押すと「弱」になります。

■停止するには、運転スイッチの左側を押して「切」にする。
●ランプが消灯し、運転が停止します。

脱臭フィルター取付日シールの貼り付け

●脱臭フィルターの交換は約5年が目安です。
ただし、動物病院など連続的に強い臭気が発生するところでは、交換周期が多少短くなります。
●同梱の脱臭フィルター取付日シールに取付日を記入し、例としてコントロールスイッチに貼り付けるか製品内部およびパネルの見やすい場所に貼り付けてください。
●脱臭フィルター交換の際には、交換用脱臭フィルターに同梱の取付日シールを貼り直してください。

お願い

●パネル・パネルフレームにスプレー(殺虫用、整髪用、掃除用)を直接かけないでください。
パネルなどが変質・破損する原因になります。

お手入れ

脱臭ユニットの機能を長く維持していただくために、エアフィルターに付着したごみ、ほこりを定期的に清掃し、脱臭フィルターの交換をしてください。
■お手入れの際は足元が不安定な状態で部品の着脱を行わないでください。
■分電盤のブレーカーを切る。

清掃の目安　エアフィルター……1年に1回以上清掃
（汚れの状態に応じて清掃回数を増やしてください）

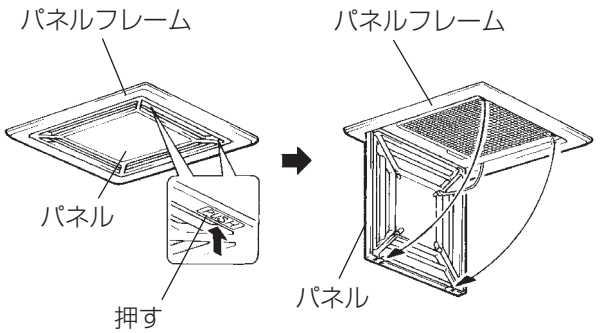
交換の目安　脱臭フィルター……脱臭効果が少なくなった場合交換

脱臭フィルター交換の目安について

この脱臭フィルターは金属イオンの働きによって高い脱臭性能を保ちます。
金属イオンは匂い成分との反応によって消耗しますので、脱臭能力は徐々に低下します。
●脱臭効果が少なくなった場合は、脱臭フィルターの交換(お客様ご負担)を検討願います。
●交換の目安は約25000時間です。
ただし、動物病院など連続的に強い臭気が発生するところでは、交換周期が多少短くなります。

各部品のはずしかた

1



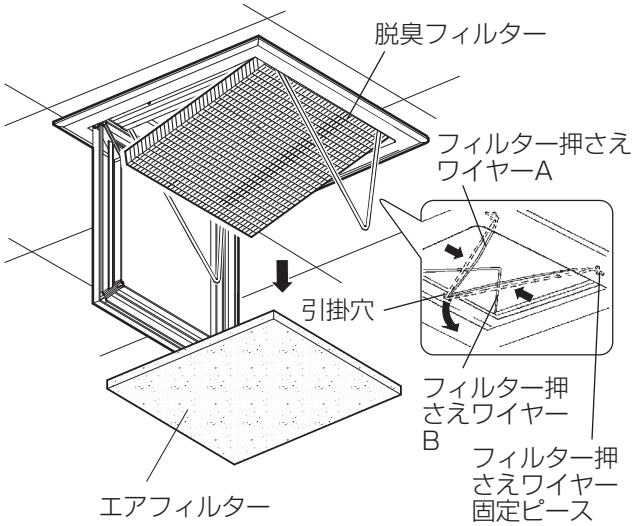
パネルを開ける

1.パネルの PUSH (2か所)をカチッと音がするまで指で押す。
2.パネルを開ける。

お願い

●パネルに天井材が入れてある場合は、パネルが重くなっています。ゆっくりと開けてください。

2

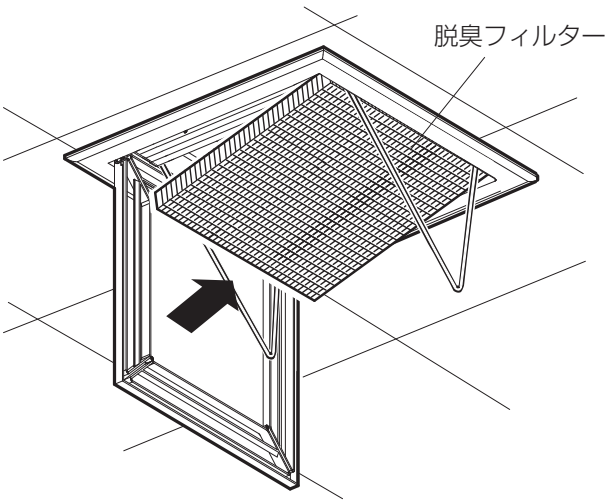


エアフィルター・脱臭フィルターをはずす

1.フィルター押さえワイヤーAを握るようにして引掛穴からはずす。（このときフィルター押さえワイヤーBも垂れ下がります）
2.汚れが飛ばないように、エアフィルターをはずす。脱臭フィルターは片側を少し押し上げ、斜めにして押し上げたほうの反対側から手をかけて静かに取りはずす。
（目にほこりが入らないよう注意してください）
●脱臭フィルターは落下防止のためにフィルター押さえワイヤー固定ピースで仮固定されています。
●取りはずした脱臭フィルターは、燃やしても有害物質は発生しません。

お手入れ つづき

脱臭フィルターの交換

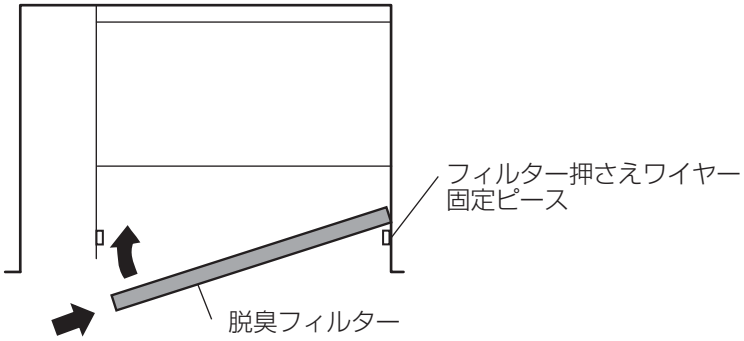


システム部材（別売）の脱臭フィルター（AT-30DF）をお求めのうえ取付けてください。

- 新しい脱臭フィルターをビニール袋から取り出し、矢印の方向に取付ける。

お願い

- **脱臭フィルターの交換の際は、同時にエアフィルターの清掃（交換）をおすすめします。**
- **ビニール袋は、小さなお子様がかぶったりしないよう処分してください。**
- **無理な力を加えると割れが発生しますのでご注意ください。**

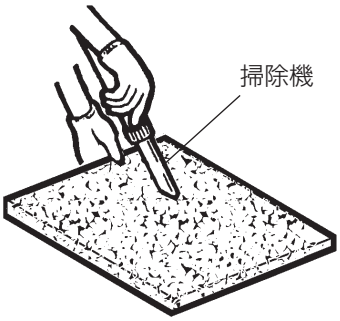


メモ

- 交換用の脱臭フィルター（AT-30DF）がシステム部材（別売）として用意されています。
  脱臭フィルターのご購入は、お買い求めの販売店または下記へどうぞ。

株式会社　メルコエアテック（三菱電機グループ）
〒508-0011　岐阜県中津川市駒場526-2
TEL. 0120-66-9893　FAX. 0120-66-9895
ホームページアドレス：http://www.melcoairtec.co.jp/

エアフィルターの清掃



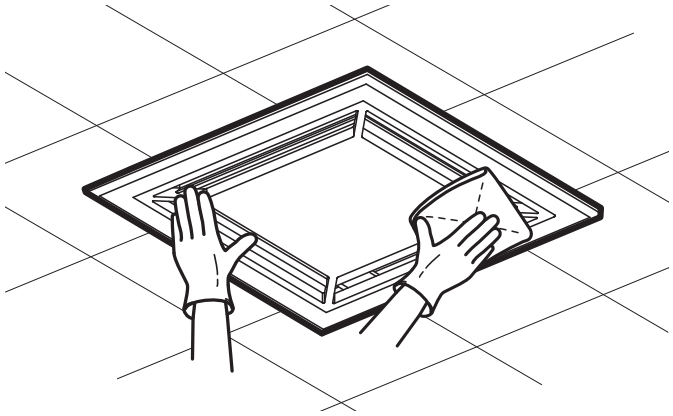
軽く手でたたくかまたは、掃除機でほこりを吸い取る。

- 汚れのひどい場合は、水またはぬるま湯（40℃以下）に中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かす。

お願い

- **熱湯で洗ったり、もみ洗いは絶対におやめください。（エアフィルターが変形して性能が損なわれるおそれがあります）**
- **エアフィルターを入れ忘れないでください。**

パネル・パネルフレームの清掃

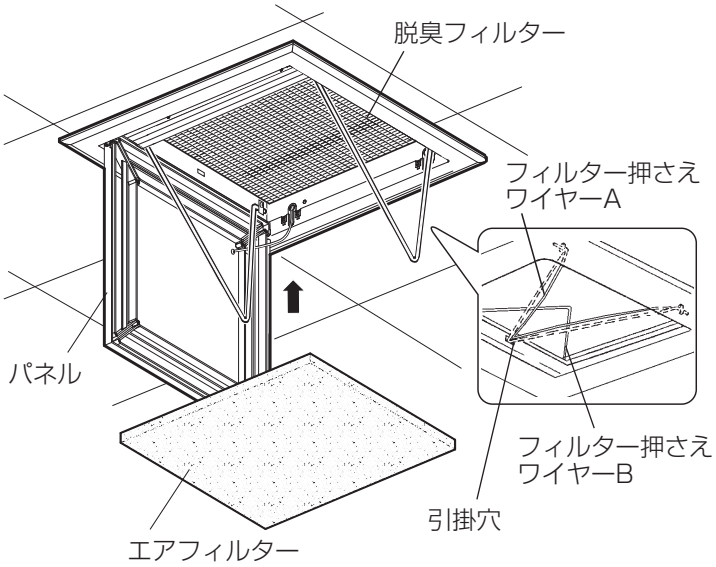


パネル・パネルフレームが汚れてきたら、中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸した布を固くしぼって拭き、洗剤が残らないようきれいな布で拭き取る。

お願い

- **パネル裏側の段ボールは水に濡らさないでください。（パネルに天井材を入れてない場合）**
- **お手入れに下記の溶剤などを使用しない。変質・変色の原因になります。**
  (シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等けんま材入りの洗剤)

お手入れ後の組立てと確認



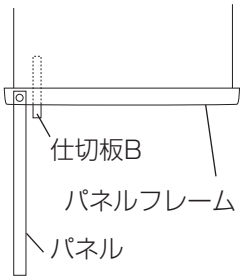
⚠注意

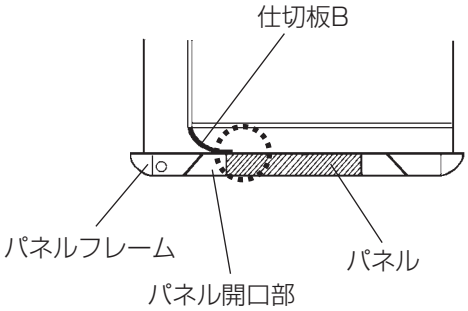
お手入れ後の部品の取付けは確実に行う
(落下によりけがをすることがあります)

1.エアフィルターを取付ける。
- フィルター押さえワイヤーB、Aの順でフィルターを押さえ、フィルター押さえワイヤーAの先端を引掛穴に引っ掛ける。

お願い

- **このときパネルと仕切板Bが右図の位置となるようにしてください。**





2.パネルを閉じる。
- PUSH (2か所)をカチッと音がするまで指で押す。
- パネルを閉じるときは仕切板Bをパネル開口部より内側に折り込み、左図のようにパネルと仕切板Bの間にすき間ができないようにしてください。

3.次の確認をする。
(1)パネルが確実に取付けられていますか？
(2)異常な音が出ていませんか？
(3)風は正常に出ていますか？
（必ず運転して確認してください）

「故障かな？」と思ったら

現　象	原　　因	処　　置
運転しない	●元電源が入っていない	●元電源を入れる
	●フィルターが目詰まりしている	●「お手入れ」に従って清掃する
臭いがとれない	●脱臭フィルターを5年以上使用している	●脱臭フィルターを交換する

上記の処置をしても改善されない場合は、お買上げの販売店にご相談ください。

アフターサービス

アフターサービスはお買上げの販売店かお近くの「三菱電機　修理窓口・ご相談窓口」（別紙）にご相談ください。
別紙チラシが不明な方は下記窓口へお問い合わせください。

■ご相談窓口
平日　　9：00～19：00
土・日・祝　　9：00～17：00
三菱電機冷熱相談センター　電話0037-80-2224（無料）
※電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

異音がする、風が出ないなど異常があれば電源を切って、お買上げの販売店へご連絡ください。
点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。

■補修用性能部品の保有期間
当社はこの単独脱臭ユニットの補修用性能部品を製造打切り後9年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕　様

形　名	電圧（V）	周波数（Hz）	ノッチ	消費電力（W）	定格風量（m^3/h）	騒音（dB）	質量（kg）
TDA-30JC2	100	50	強	43	300	38	8.5（本体+パネル）
			弱	27	130	22	
		60	強	48	300	38	
			弱	27	130	22	

※騒音はパネル直下1.5mの値を表示しております。

お客様メモ サービスを依頼されるとき便利です。	形　　名	TDA-30JC2
	お買上げ年月日	年　　月　　日
	お買上げ店名 （住　所） （電話番号）	（　　）＿＿＿＿＿＿＿＿

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
（材質名は主材料にISO規定の略号を使用。）

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。